

2009年1月19日

報道関係各位

## カプセル内視鏡のパイオニア ギブン・イメージング社 富士フィルムと国内販売で提携

内視鏡分野でグローバルリーダーの1社である富士フィルムが  
PillCam® SB を 2009年1月より日本で販売開始

ギブン・イメージング社 (NASDAQ: GIVN、イスラエル ヨクナム)は、富士フィルム株式会社との戦略的提携の範囲を拡大することを発表しました。2009年1月より、富士フィルムの子会社である富士フィルムメディカル株式会社を通して、ギブン・イメージングの小腸用カプセル内視鏡、PillCam® SB の日本での販売を開始します。ギブン・イメージングは 2007 年から富士フィルムと製品開発の分野で提携関係にあり、中国を含む特定の国では、既に富士フィルムが PillCam® SB を販売しています。

ギブン・イメージングのホミ・シャミール社長兼 CEO は次のように述べています。「内視鏡分野で、素晴らしい業績を上げている富士フィルムとの戦略的提携の拡大を大変うれしく思います。両社のパートナーシップは、日本で消化器疾患に苦しむ患者様に優れた診断治療を提供するものと確信しています。従来からのパートナーであるスズケンと新しいパートナーである富士フィルムが日本において小腸疾患の素晴らしいソリューションプロバイダーとして活動することで、有望な日本市場において、当社は事業基盤と販売を拡大できます。富士フィルムは 2003 年に小腸疾患を治療するダブルバルーン内視鏡を発売しました。検査に有効なカプセル内視鏡と、処置に威力を発揮するダブルバルーン内視鏡は、最高の相互補完の関係にあります。」

富士フィルムメディカルの加藤 久豊 代表取締役社長は次のように述べています。「富士フィルムのダブルバルーン内視鏡とギブン・イメージングの PillCam® SB の組み合わせは、臨床の診断・治療および研究において盛んに実施され、大きな成果が出てきています。また、富士フィルムの内視鏡検査画像管理システム『nexus sif』を通じて、病院内の基幹システムと接続されることをうれしく思っております。」

### ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、2001 年から、PillCam®プラットフォームのコンセプトを基盤とした革新的で患者様に優しい先進的な消化管診断ツールを提供しています。PillCam® SB は小腸、PillCam® ESO は食道、PillCam® COLONは大腸の自然のままの消化管画像を提供します。PillCam® カプセル内視鏡は、患者様が嚥下するカプセル型の小型ビデオカメラです。ギブン・イメージング社では、他にもカプセル型製品を販売しております。PillCam®カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか、開通性をみるための AGILE、胃食道逆流症(GERD)の pH 検査に使用する医療機器としては、カテーテルを使用しない唯一のワイヤレス 48 時間 pH 検査システムの Bravo®があります。ギブン・イメージング社の製品は、最先端のワイヤレス通信技術とソフトウェアを使用することにより、より正確な消化管疾患の診断を可能とし、患者様には、より適切な治療を実現することができます。全てのギブン・イメージング社の製品は低侵襲性で、かつ無拘束であり、患者様は検査中も日常生活を送ることが可能です。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。

さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。<http://www.givenimaging.com>.



このプレスリリースはギブン・イメージング社  
2009年1月19日の発表を翻訳したものです。

## Press Release

### 日本法人 ギブン・イメージング株式会社について

ギブン・イメージング株式会社(東京都千代田区、社長: 笈川義徳)は、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、現在世界のカプセル内視鏡市場における圧倒的なシェアと豊富な経験を持つギブン・イメージング社(Given Imaging Ltd. 2001年 NASDAQ 上場)の日本法人であり、日本におけるカプセル内視鏡の製造販売会社です。

<ホームページ>

<http://www.givenimaging.co.jp>

注) 日本では、PillCam® SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。また国により適応が異なります。米国では大腸用の PillCam COLON は認可されていません。